

経営比較分析表（令和2年度決算）

和歌山県国民健康保険野上厚生病院組合 国保野上厚生総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	訓	救へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	18,938	-	第2種該当	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

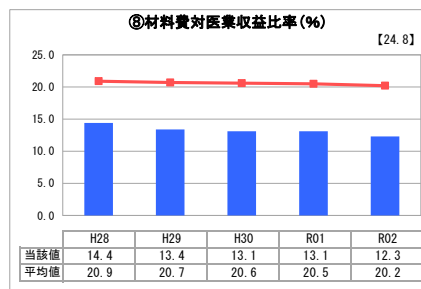
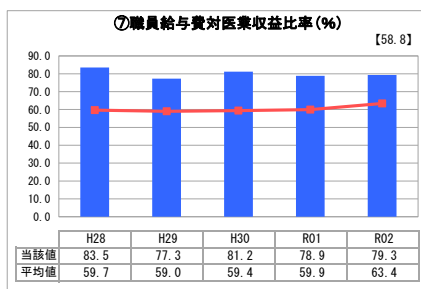
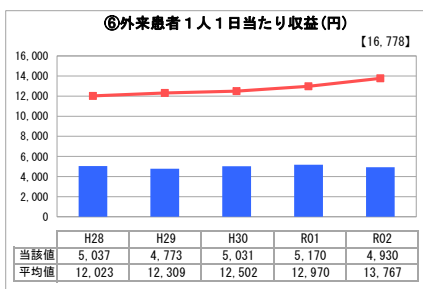
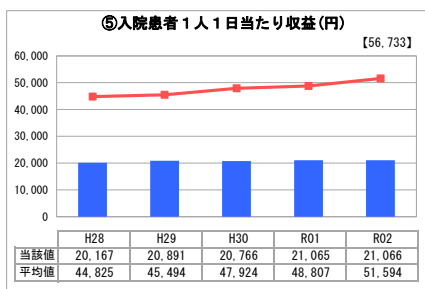
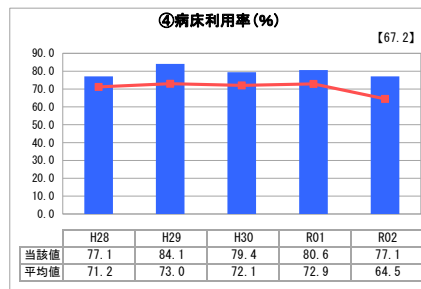
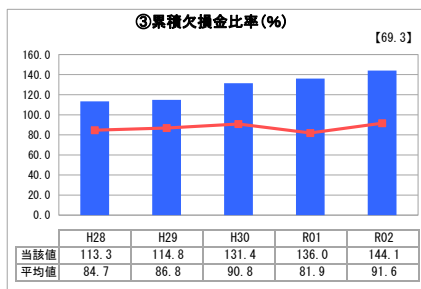
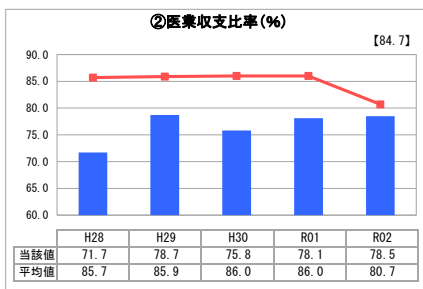
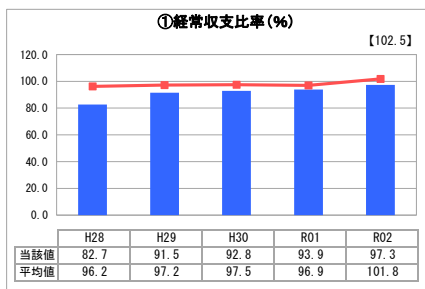
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
100	54	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
100	-	254
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
98	54	152

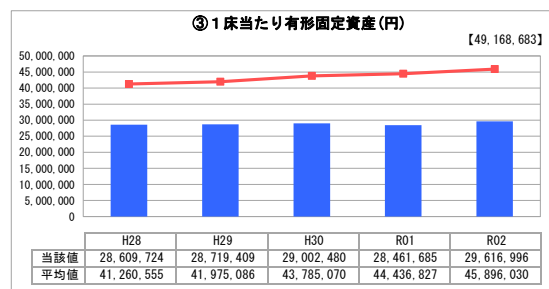
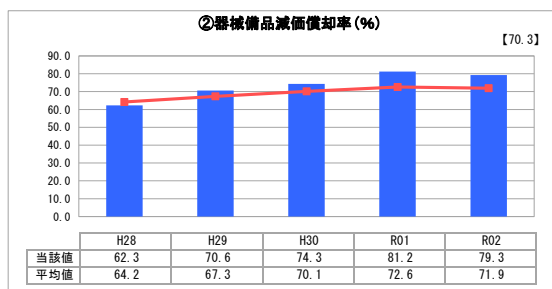
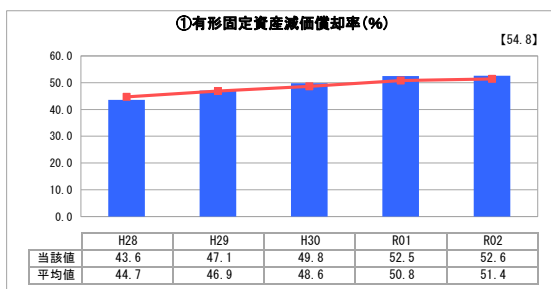
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

・へき地拠点病院として民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供。

・救急・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供、看護専門学校等の運営。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

* 不要な投資などは行わず経営健全化に努めています。診療においては新型コロナウイルス感染症の影響で患者数・医業収益ともに昨年度より減少しましたが、医業外収益の増収、医業費用の減により純損益は昨年度決算値より56.2%の伸び率となりました。
コロナ禍で医業収益はあるが常勤不在となっている医師の確保もめ、更なる経営改善の取り組みを行う。

2. 老朽化の状況について

* 構築物の更新は24年度の給食施設が最終で、現時点において建物の老朽はありません。医療機器および周辺機器については耐用年数・使用時間等をもて大きな負担とならないよう計画的に更新しています。

全体総括

* 新型コロナウイルス感染症の影響で、入院外来患者数・収益ともに昨年度より減少し、医業収益は昨年度比で2.9%の減となった。医業外収益については今年度から不採算地区中核病院の対象となり特別交付税で増収となった。費用面では、電子カルテの償却が終了したことにより、減価償却費が大きく減少した。
* コロナ禍で収益に大きな影響を受け赤字決算ではあるが、交付税の増額、減価償却費の減少により、純損益は昨年度より56.2%の伸び率となった。当年度純損失は、昨年度より109,143千円回復し、85,106千円となった。
今後もへき地拠点病院として地域の医療を担い、病院事業の安定した運営に努めていく。